

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組①-3-b 1)	北九州環境みらい学習システム(ESD)の推進	【環境局】														
②対応する目標・課題	本市の恵まれた自然や充実した環境学習施設、先進的な環境政策などを資源として学ぶとともに、多世代かつ多様な人々が協働することにより環境保全の取組を行うなど、持続可能な社会を担う人材を育成する。																
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:エコツアー等の体験学習による環境人材の育成	■目標値:エコツアー参加者10万人(平成22年度)→ 100万人(平成37年度)															
④取組内容	<p>本市の恵まれた自然や充実した環境学習施設、蓄積した取組み・先進的な環境施策などを資源として、あらゆる世代が実践的に学ぶとともに、地球規模の広い視野をもって多主体が協働することにより、身近な地域課題等に取組む人を育む「環境みらい学習システム」の推進を強化する。</p> <p>この学びを通じて、一人ひとりが環境との関わりを認識し、具体的なライフスタイルの変革行動、さらに各主体の相互協力による課題解決に取組むなど、環境未来都市の原動力となる、持続可能な社会づくりを担う人材を育む。</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 多世代を対象とした環境学習・体験ツアーの充実・推進 環境学習の推進強化を図る仕組みの構築・実施 システムを支える人材の継続育成 学習機会の増加・拡大を図ることにより、環境意識の向上と自発的な環境行動の促進につなげる環境首都検定の充実 市民・NPO、企業、大学等の多様な人々が連携・協働することにより、様々な地域課題等に取組むESD活動の推進 環境情報の交流・発信を推進するとともに、日頃から取組んでいる環境活動やエコライフを発表・提案する場となる「エコライフステージ」の実施 																
⑤エリア	市域全体																
⑥主体	北九州市、北九州ESD協議会、北九州エコライフステージ実行委員会、環境関係NPO、環境関連企業																
⑦活用した国等の制度	地域グリーンニューデール基金(環境省) 環境未来都市先導的モデル事業費補助金(内閣府)																
⑧地域の関与	<ul style="list-style-type: none"> 本市のESD活動の核となる北九州ESD協議会及び「エコライフステージ」実行委員会への負担金拠出 地域における環境活動の推進を支援するため、「グリーンフロンティア助成」による補助金交付 																
⑨スケジュール	<table border="1"> <tr> <td>23年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 環境イベント等データベース構築、人材育成着手、環境学習ツアーの開発・整備、モデル実施(総合窓口開設に向けた情報コーナーの試行設置)、環境情報発信の整備 エコライフステージの実施 </td> </tr> <tr> <td>24年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 環境学習プログラムのカリキュラム化、ツアーの実施 環境情報コーナーの運営と環境情報の発信 システムを支える人材育成講座(エコツアーガイド等)等の実施 総合窓口のあり方検討 ○(仮)環境リーダーみらい塾創設に向けた検討 ○環境首都検定受検者の拡大に向けた働きかけ ○小中高校生・大学生などの検定受検者増に向けた体制づくり ○「ESDの10年・最終年会合」のプレイベントの検討・準備 ○(仮)アジアエコマンス実施に向けた検討 ○エコライフステージの実施 </td> </tr> <tr> <td>25年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○環境学習の推進強化を図る仕組みの検討 ○ボランティアガイド・環境通訳の育成・活用 ○環境首都検定受検者の拡大に向けた働きかけ ○検定学習用アプリの導入 ○ESDの普及を担う人材の育成 ○ESDに関するアジア太平洋地域会議開催、北九州エコマンス(エコライフステージを含む)の開催 </td> </tr> <tr> <td>26年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○エコツアーの推進 ○環境学習の推進強化を図る仕組みの実施 ○継続した人材育成 ○環境首都検定公式テキスト改訂 ○検定学習用アプリの拡大 ○「ESDの10年・最終年会合」への参加とサイドイベント開催 ○エコライフステージの実施 </td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ESDの10年以降のアクションプランの検討・策定 ○ITを活用した検定の検討 ○エコライフステージの実施 </td> </tr> <tr> <td>28年度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ESDの10年以降のアクションプランに基づく取組み ○ITを活用した検定実施 ○エコライフステージの実施 </td> </tr> <tr> <td>29年度以降</td> <td></td> </tr> </table>			23年度	<ul style="list-style-type: none"> 環境イベント等データベース構築、人材育成着手、環境学習ツアーの開発・整備、モデル実施(総合窓口開設に向けた情報コーナーの試行設置)、環境情報発信の整備 エコライフステージの実施 	24年度	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習プログラムのカリキュラム化、ツアーの実施 環境情報コーナーの運営と環境情報の発信 システムを支える人材育成講座(エコツアーガイド等)等の実施 総合窓口のあり方検討 ○(仮)環境リーダーみらい塾創設に向けた検討 ○環境首都検定受検者の拡大に向けた働きかけ ○小中高校生・大学生などの検定受検者増に向けた体制づくり ○「ESDの10年・最終年会合」のプレイベントの検討・準備 ○(仮)アジアエコマンス実施に向けた検討 ○エコライフステージの実施 	25年度	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習の推進強化を図る仕組みの検討 ○ボランティアガイド・環境通訳の育成・活用 ○環境首都検定受検者の拡大に向けた働きかけ ○検定学習用アプリの導入 ○ESDの普及を担う人材の育成 ○ESDに関するアジア太平洋地域会議開催、北九州エコマンス(エコライフステージを含む)の開催 	26年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エコツアーの推進 ○環境学習の推進強化を図る仕組みの実施 ○継続した人材育成 ○環境首都検定公式テキスト改訂 ○検定学習用アプリの拡大 ○「ESDの10年・最終年会合」への参加とサイドイベント開催 ○エコライフステージの実施 	27年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ESDの10年以降のアクションプランの検討・策定 ○ITを活用した検定の検討 ○エコライフステージの実施 	28年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ESDの10年以降のアクションプランに基づく取組み ○ITを活用した検定実施 ○エコライフステージの実施 	29年度以降	
23年度	<ul style="list-style-type: none"> 環境イベント等データベース構築、人材育成着手、環境学習ツアーの開発・整備、モデル実施(総合窓口開設に向けた情報コーナーの試行設置)、環境情報発信の整備 エコライフステージの実施 																
24年度	<ul style="list-style-type: none"> 環境学習プログラムのカリキュラム化、ツアーの実施 環境情報コーナーの運営と環境情報の発信 システムを支える人材育成講座(エコツアーガイド等)等の実施 総合窓口のあり方検討 ○(仮)環境リーダーみらい塾創設に向けた検討 ○環境首都検定受検者の拡大に向けた働きかけ ○小中高校生・大学生などの検定受検者増に向けた体制づくり ○「ESDの10年・最終年会合」のプレイベントの検討・準備 ○(仮)アジアエコマンス実施に向けた検討 ○エコライフステージの実施 																
25年度	<ul style="list-style-type: none"> ○環境学習の推進強化を図る仕組みの検討 ○ボランティアガイド・環境通訳の育成・活用 ○環境首都検定受検者の拡大に向けた働きかけ ○検定学習用アプリの導入 ○ESDの普及を担う人材の育成 ○ESDに関するアジア太平洋地域会議開催、北九州エコマンス(エコライフステージを含む)の開催 																
26年度	<ul style="list-style-type: none"> ○エコツアーの推進 ○環境学習の推進強化を図る仕組みの実施 ○継続した人材育成 ○環境首都検定公式テキスト改訂 ○検定学習用アプリの拡大 ○「ESDの10年・最終年会合」への参加とサイドイベント開催 ○エコライフステージの実施 																
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ESDの10年以降のアクションプランの検討・策定 ○ITを活用した検定の検討 ○エコライフステージの実施 																
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ESDの10年以降のアクションプランに基づく取組み ○ITを活用した検定実施 ○エコライフステージの実施 																
29年度以降																	
⑩他の取組との連携	特になし																
⑪自立・自律の方針・目標	エコツアー、環境首都検定、エコライフステージなど、楽しみながら学習できる仕組みの充実を図り、その体験を通じた、あらゆる世代の環境意識を高め、ライフスタイルの変革などの行動を起こすことができる人材を育む。																